

第四次川越市国際化基本計画 計画の指標 最終評価

(注) 目標値を超えた実績値には下線を引いてあります。

| 基本 目標 | 指標 | 単位 | 基準値 ※1 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 最終評価 |
|----------|---------------------|----|--------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-------|-------|--------|------|
| | | | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R2年度 | |
| 1 | 日本語教室参加者数 | 人 | 3,373 | 3,604 | <u>4,711</u> | <u>3,767</u> | <u>4,008</u> | 3,612 | 232 | 1,475 | 3,900 | B |
| | ボランティア活動者数 | 人 | 2,666 | 2,795 | <u>3,154</u> | <u>3,322</u> | <u>3,449</u> | <u>3,146</u> | 315 | 1,553 | 3,000 | B |
| 基本 目標 | 指標 | 単位 | 基準値 ※1 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 最終評価 |
| | | | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R2年度 | |
| 2 | 国際理解講座等の年間延べ受講者数 | 人 | 982 | <u>1,738</u> | <u>1,861</u> | <u>2,340</u> | <u>1,746</u> | <u>1,524</u> | 127 | 521 | 1,500 | B |
| | 外国人観光客数の割合 ※2 | % | 1.1 | 1.7 | 2.4 | <u>3</u> | <u>3</u> | <u>4</u> | 1.0 | 0.7 | 2.5 | B |
| 基本 目標 | 指標 | 単位 | 基準値 ※1 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 最終評価 |
| | | | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R2年度 | |
| 3 | 国際交流センター利用者数 | 人 | 16,855 | 17,459 | <u>19,072</u> | <u>18,287</u> | <u>18,109</u> | 15,506 | 2,854 | 6,300 | 18,000 | B |
| | 外国籍市民国際人材ネットの登録者数 | 人 | 39 | 38 | 38 | 35 | 37 | 32 | 32 | 28 | 45 | C |
| 基本 目標 | 指標 | 単位 | 基準値 ※1 | 参考値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 最終評価 |
| | | | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R2年度 | |
| 4 | 姉妹・友好都市交流件数(5年間平均) | 件 | 26.2 | 27.4 | 28 | 27 | 26.6 | 27.2 | 21.4 | 16 | 30 | C |
| | 外国籍市民と日本人市民との年間交流者数 | 人 | 7,722 | <u>8,555</u> | <u>10,014</u> | <u>9,137</u> | <u>9,282</u> | 8,370 | 535 | 3,531 | 8,500 | B |

※1 第三次川越市国際化基本計画における平成26年度の実績値を採用しています。

※2 外国人観光客数の割合は、「暦年」(1月1日～12月31日)を基準とした数値です。

| 評価 | 内容 |
|----|-----------------|
| A | 目標値に対して達成度が高い |
| B | 目標値に対して達成度がやや高い |
| C | 目標値に対して達成度がやや低い |
| D | 目標値に対して達成度が低い |

【第四次川越市国際化基本計画を振りかえって】

本計画は、当初、平成28年度から令和2年度を計画期間とし、「すべての市民が暮らしやすい多文化共生のまちづくり」という基本理念の下、4つの基本目標(外国籍市民への支援の充実/国際感覚に優れた市民の育成/外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり/姉妹・友好都市交流の充実)を掲げ、本市の国際化や多文化共生の推進に取り組んでまいりました。

計画期間中、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、次期計画である「第五次川越市国際化基本計画」の策定期間が1年延期となったことから、本計画年度を令和3年度まで延長いたしました。そのため、評価は計画策定当初に設定した令和2年度の目標値を基準にしています。

本計画の実施状況は、令和元年度末に拡大したコロナの影響に大きく左右される結果となりました。計画の指標については、その多くが「対面」による活動を主軸としていたため、コロナ禍以降の実績は目標値に対して大きく下回りましたが、最終の評価は、計画期間における数値のみならず、コロナ禍をはじめとする社会状況の変化、令和3年度以降に向けての取組などを踏まえ、総合的に判断しています。

コロナ禍においては、人と人との交流が制限される形となり、地域の国際化の拠点施設である「川越市国際交流センター」も長期休館を余儀なくされました。しかしながら、新しい生活スタイルが浸透していくにつれ、外国籍市民のための日本語教室や相談事業、各種講座は、感染対策の徹底や運営方法の変更などを行い活動を再開しました。今後は、場所や時間の制約が少ない「オンライン」形式での活動を積極的に取り入れていくことが大きな課題となります。

令和4年度を始期とする「第五次川越市国際化基本計画」では、第四次計画の成果や課題を踏まえ、「すべての市民がかがやく多文化共生のまちづくり」を基本理念とし、増加傾向にある外国籍市民の生活支援を強化しながら、多様な文化を尊重し、共に生きる多文化共生のまちづくりに取り組んでまいります。